

第4回 航空自衛隊第1補給処オフィス家具等
の事務用品談合事案調査・検討委員会

議 事 概 要 等

- 1 日 時：22年6月2日（水）1030～1145
- 2 場 所：第1省議室
- 3 出席者：楠田防衛大臣政務官、防衛事務次官、大臣官房長、人事教育局長、
経理装備局長、岩井審議官（総合取得改革担当）
統合幕僚副長、陸上幕僚長、海上幕僚長、航空幕僚長、防衛監察監
小室 恒 防衛人事審議会会長（有識者委員）
坂井 一郎 防衛調達審議会会長（有識者委員）
人事教育局人事計画・補任課長、経理装備局監査課長、経理装備局
装備政策課長

4 防衛事務次官の冒頭発言の概要

- 楠田政務官は間もなく到着されるが、定刻となったので開始する。
- 本日は、調査・検討委員会の第4回目。前回の調査・検討委員会から約1か月が経過したので、その後の調査の状況について報告を受けることとする。
- 公正取引委員会から受領した関係資料の分析及び関係事業者への協力要請により、第1補給処におけるオフィス家具等の調達に関し、主な点としては、次の3点の調査を進めることとしていたところ。
 - ① 事案の背景（予算執行上の問題、事業者に在籍する自衛官OBへの配慮の問題を含む。）
 - ② 事案の仕組み（民間事業者間のつながり、自衛官OBの役割・関与等を含めた全体像の把握）
 - ③ 情報漏洩や口裏合わせがあったとされる点についての事実関係及び意図
- 本日は、このような点を含め、前回の委員会以降の調査の状況について報告を受け、委員からのご意見を頂くとともに、今後の調査の進め方についても議論したい。

5 楠田防衛大臣政務官からの挨拶の概要

事案については、様々な努力を重ね、調査は、かなり進んできているが、今後とも更に厳しい作業が必要となるので、一致協力していきたい。私自身も本事案の難しさを感じているところである。委員の皆様方の意見を頂き、進めていきたい。

6 議論の概要

資料に基づく説明の後、次のような点について、質問や意見が出された。

- 公正取引委員会から提供された資料の分析について質問があり、これまでの分析状況を報告した。
- 調査の具体的な進め方について議論があった。
- 本事案に関連する予算執行の問題について、よく調査すべきとの意見があった。
- 事案の背景や動機を分析する上で、事案の関係者が官製談合防止法についてどのように認識していたのかについても、よく調査すべきとの意見があった。
- オフィス家具関連事業者に対する調査について回答が集まり次第、よく分析すべきとの意見があった。
- どのようなことがあったのかについて説明を進めるためには、公正取引委員会から指摘されている、OA機器、コピー機、トナーといったオフィス家具等以外の調査についても調査を進め、全体像を把握することが重要との意見があった。

7 楠田防衛大臣政務官の閉会発言の概要

- 今回の委員会において、主として次の3点について報告を受けた。
 - ① 第1補給処におけるオフィス家具等の調達に係る談合事案の概要
 - ② 関係事業者に対する書面の状況
 - ③ 第1補給処におけるオフィス家具等に係る契約関係資料の分析

- 本事案の調査が進んで、事案の概要はかなり把握できてきている。調査にあたっては、内部、外部からの両視点を持って調査することが必要であり、外部の視点という意味で、政治家である私自身も含め有識者の先生方の意見等を十分参考にして、調査チームは作業を進めてもらいたい。

- 報告のあった内容については、客観的な事実関係に係るものを除けば、引き続き調査を要する部分があり、これを公表することは適当ではないため、公表を控えることとしたい。

- 今後の調査については、次の3点を中心に作業を進めることとしたい。
 - ① オフィス家具等の調達については、関係事業者への調査協力依頼の未回答分の回答を待ち、確認作業を行うことを含め、事案の仕組みの細部及び予算執行の状況について、引き続き調査
 - ② 第1補給処におけるオフィス家具等以外の調達については、事業者別の目標を達成するための仕組みを解明するため、引き続き、関係職員からの聴き取り及び関係書類の分析
 - ③ 省内各機関におけるオフィス家具等の調達等については、点検結果の評価・分析

- 本件については、事案の解明を期待する国民の目を意識に置きつつ、スピード感をもってやっていかなければならない。一方、中途半端な報告となってもいけない。両方の面を意識しつつ、しっかりと、できる限り速やかに調査を進めて欲しい。

- 次回の委員会については、約1か月後に開催することとしたい。

(以上)